

19 年度熊本県支部総会開催報告

本年度の熊本県支部総会を、平成 19 年 9 月 1 日に“熊本交通センターホテル(6F 菖蒲)”で催した。熊本県支部では「県所属の在校生を交えての会」を企画して 3 年目となった。今年は残念ながら在校生の参加は 1 名(米村知憲君[5 年])であったが、総勢 28 名の出席で大盛会となった。参加の各員は個々に大学時代を振り返りながら、終始和やかな雰囲気では進行した。大学同窓会本部からは、同窓会会長の紫野先生(昭 38 卒)をお招きし、大学・同窓会本部・学園情報等の近況を伺った。

総会は、濱崎五郎支部長(昭 33 卒)の挨拶で始まり、紫野同窓会長に来賓の挨拶をいただき、準会員の米村君を紹介したあと、議事を進行した。まず、議長には鈴木透氏(昭 43 卒)を指名し、各議題について話合った。議事の内容は、平成 18 年度行事報告、平成 18 年度収支決算報告・監査報告に続き、その他として脱会された会員について検討するとともに、高齢の会員の会費について検討した。最後に熊本県支部会報『もっこす』(No.1、2006 年 5 月発刊)の掲載文集の協力依頼、来年の支部総会開催予定日を決定した。1~2 の質疑があったが、全議題とも一票の反対もなく、全て原案通り可決され承認された。その後、紫野同窓会長から大学・同窓会本部・学園情報等に関する近況報告をしていただき総会を終了した。

総会終了後、毎年恒例の懇親会に移った。懇親会は濱崎支部長の挨拶をいただき、紫野同窓会長の乾杯で始まった。久しぶりに会った先輩・同輩・後輩たちの環で、麻布の懐かしい思い出話に華が咲き、楽しい歓談があちこちで繰広げられ、かつての淵野辺境界の様子を髣髴させる程であった。参加の在校生も、孫-祖父程に歳の離れた先輩方と無理なく調和し語らっていた。宴もたけなわとなると、麻布獣医科大学校歌、寮歌を合唱したあと、濱崎支部長十八番の“麻布大学-かぞえ唄”を支部長直々壇上に上がりの全員合唱に移った。最後に、来年も大盛会となることを誓い合いながら、石原亨氏(昭 25 卒)の万歳三唱で締めくくり宴を終えた。

最後になりましたが、麻布大学同窓会全会員のご健康と御活躍を祈念しながら、熊本県支部の近況報告とさせていただきます。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

事務局 三浦浩史(平 5 卒)